

第339回 番組審議会

1. 日 時 令和7年 3月 18日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
11F「ギャラクシー」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 6名

○ 出席委員 (敬称略)

佐藤 修一 (副委員長)

—50音順—

石田 征広

岸 真英

菅原 正二

平野 順子

八木橋 伸之

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)

高嶋 昇 (常務取締役営業局長)

君澤 温 (常務取締役総務局長)

櫻 克宏 (取締役報道局長)

近谷 利政 (取締役コンテンツ推進局長)

井上 智晶 (報道部副部長)

○ 事務局

岩渕 博美

4. 議題 「岩手／宮城／福島合同特別番組

明日への羅針盤2025～それぞれの選択～」

放送日時：令和7年3月11日（火）13：50～14：45

5. 議事概要

今回は、3月11日に放送した「岩手／宮城／福島合同特別番組 明日への羅針盤2025～それぞれの選択～」について審議しました。

はじめに、ディレクターを務めた井上智晶が「各県の独自性を出せればということ、テーマを『それぞれの選択』にした。岩手は陸前高田市立博物館の文化財を残すということ、震災から14年のタイミングで取り上げる意味がある」と、番組のテーマや内容について説明しました。

【委員からの意見】

委員からは「各県の話が独立してまとまっていて分かりやすい」「伝えることと検証のバランスが非常に良くできている」「改めて自分の行動や日常の心構えを見直すきっかけとなった」「客観的な視点で作られていて見やすく、自分の人生と重ね合わせながら見られた」といった意見が出ました。

一方で、「各局15分くらいだったが、時間をかけてじっくり見たかった」「3県合同で放送する意義を、もう少し感じられれば良いと思った」という意見もありました。